



牧田総合病院
Makita General Hospital

入院のご案内

* 目次 *

- * 入院から退院について / 患者さんへのお願い / 医療福祉相談 . . . 1
- * 入院受付 / 入院手続 / 入院費支払い 2
- * 限度額適応について 3
- * 病室について / 室料差額 / 退院手続 / 退院時の忘れ物について . . 4
- * 入院の際お持ちいただくもの 5
- * 面会について / 各館出入り口について /
病院内セキュリティについて 6
- * セーフティーボックス・現金/貴重品について /
携帯電話・電子機器類の使用について / 個人データの保存について・7
- * 口腔衛生について 8
- * 入院生活について 9
- * その他の注意点 10
- * 現在服用・使用しているお薬について 11
- * 医療安全対策 12・13
- * 感染防止対策 14
- * サービス施設のご案内 15
- * 鍼灸治療・マッサージ 16

* 牧田総合病院のビジョン・ミッション *

【VISION】 すべての人に安心を

【MISSION】 病院を変える、地域を変える

【SPIRIT】 「愛情・親切・丁寧」の実践

【VALUES】 確かな急性期医療で安心を・断らない救急医療で安心を

* 入院から退院について *

当院は、東京都指定の二次救急医療機関です。

急性期病院は、治療に要する入院日数も国の制度で定められ、当院でも早期の退院を目指しております。

つきましては、病状に合わせての病室・病棟間の移動や、専門的な治療が終わり病状が安定した患者さんで、引き続き入院治療を必要とする場合、医師の判断において、地域包括ケア病棟へ転棟していただく事がございます。

退院にあたり、ご自宅への退院が難しい患者さんは、状態に適した機能を有する医療機関・介護施設などを紹介し、転院をお願いしております。

専門的な医療を必要とする多くの患者さんを受け入れ、地域に貢献していきたいという当院の方針のため、何卒ご理解の上皆様のご協力をお願いいたします。

* 患者さんへのお願い *

1. 最善で適切な医療を受けるために、病状経過や過去の治療歴などの情報を提供すること。
2. 病気克服のために、医療関係者と共同して治療に取り組むこと。
3. 検査や治療のために、必要な医療費を負担すること。
4. 病院や社会のルールやマナーを守り、迷惑行為等を行わないこと。

* 以下のような行為があった場合は、強制退院や、必要に応じて、警察へ通報する場合がありますので、あらかじめご了承ください

- 病院職員に対する暴言・暴力・セクシャルハラスメント等により、診療や業務に支障が生じる行為
- 病院敷地内での飲酒・喫煙
- 病院敷地内での宗教の勧誘・政治活動・営利行為
- 他の病室・処置室・ナースステーションなど院内施設への無断出入り
- 他の患者さんへの迷惑行為

* 医療福祉相談 *

ご入院中の医療に関するご心配やお悩み事等のある方は、ご相談に応じますので、病棟師長まで遠慮なくお申し出ください。また、当院では、在宅医療・訪問看護も行っております。

医療福祉相談室(ソーシャルワーカー)へのご相談につきましても、病棟師長へお申し出ください。

* 入院受付 *

平日：B棟 1 階（受付 11）：入退院受付

【 受付 時間 】 8：45 ～ 17：00

【 電話受付時間 】 8：45 ～ 16：30

* 土日・祝日除く

* 入院手続 *

診察券

健康保険証・各種医療証

※ 変更・追加・更新時はその都度ご提示下さい

入院申込書（兼誓約書）

* 連帯保証人欄は、必ず自署にて記入してください。

* 連帯保証人欄を記入いただけない場合や自費等の場合は、保証金:10万円をお預かりしています。

* 保証金は、退院時に入院費と合わせてご精算します。

* 保証金預り証は再発行できませんので、大切に保管しておいてください。

* 時間外に入院された場合は、翌営業日に入院手続きを行ってください。

* 空室状況・治療内容・病状によっては、病室の希望に添えない場合があります。

* 入院費支払い *

【 受付 時間 】 8：45 ～ 17：00

* 土日・祝日除く

請求期間 : 毎月 1 日または入院日～月末

請求書発行日 : 翌月 10 日または退院日

* 請求書がお手元に届いてから、7日以内に、入院受付でお支払いください。

* B棟 1 階自動精算機(8:30～20:00/毎日) もご利用いただけます。

☆ ご使用いただけるカード ☆

VISA カード・マスターカード・UC カード・セゾンカード・デビットカード
JCB カード・ダイナースクラブ・ディスカバリー・アメリカンエクスプレス

* カードのお支払い方法は、一括払いのみの取り扱いになります。



「限度額適用認定証」

・

「限度額適用・標準負担額減額認定証」

のお知らせ

「限度額適用認定証」又は「限度額適用・標準負担額減額認定証」を

病院に提示することにより、

窓口負担が軽減される場合があります。

また、すでにお持ちの患者様は B 棟1階 入退院受付 へご提示を
お願いします。

詳しくは下記の時間帯に B 棟1階 入退院受付 にお越し下さい。

平日 8 : 4 5 ~ 1 7 : 0 0

* 病室について *

室料差額部屋につきましては別途、室料を規定によりお支払いいただきます。

ご希望・ご承諾の方は、室料差額同意書に必要事項を記入のうえ提出してください。
室料差額は、入院日及び退院日は規定により入退院時間に関係なく、それぞれ1日として計算いたしますので予めご了承ください。

入院予約後の変更希望、お問い合わせは、後日お電話にて以下の時間をお願いいたします。

【 お問合せ時間 】 8：45 ～ 16：30 * 土日・祝日除く

* 室料差額 *

* 料金はすべて税抜きの価格です。

特別室	45,000 円
個室（トイレあり）	17,000 円
個室（トイレなし）	10,000 円
4 床部屋（準個室）	4,000 円
4 床部屋	0 円

- * 部屋数に限りがあるため、ご希望に添えない場合があります。
- * 入院後のお部屋の変更希望については入院病棟看護師にご相談ください。
- * TV・冷蔵庫利用代は500円/日となります。
室料差額をいただいている場合は、別途料金はいただきません。
- * その他、入院基本料の食事代等の含まれていないものは、別途、請求させていただきますのでご了承ください。

* 退院手続 *

予定退院時刻：原則 10:00

- * 会計が出来ましたらお知らせしますので、病室でお待ちください。
- * 保証金預り証がある方は、精算時に提出してください。
- * 急遽、退院が決定した場合は、お薬や書類作成・会計の準備にお時間が
必要となりますので、あらかじめご了承ください。

* 退院時の忘れ物について *

退院時に私物などの忘れ物がみられます。その対策としてチェックリストを用いて、
担当看護師と一緒に確認をさせていただいています。

連絡なしに1ヶ月を過ぎたら処分させていただきます。

＊入院の際にお持ちいただくもの＊

- ＊ 持ち物には、お名前をご記入の上、自己管理もしくはご家族管理でお願いします。
- ＊ **レンタルあり**：外部業者によるサービスです。別紙参照のうえ、お申し込みください。
入院時に、記入した申込書を病棟看護師にお渡しください。
退院後、ご自宅に請求書が郵送され、入院費とは別払いとなります。

- 「入院のご案内」(この冊子) ※ 忘れずにお持ちください。
- 保険証・診察券・医療証(医療券) と 入院申込書(兼誓約書) → P 2 《入院手続き》参照
- 書類(入院や検査・手術に関する同意書など)
※ 記載・ご署名・捺印が必要なものは、すべて記入したものをお持ちください。
- お薬・お薬手帳 → P 1 1 ＊現在使用・服用している薬について＊ 参照
- はきなれた靴・靴下
※ スリッパやサンダルは転倒予防のため、禁止しています。
※ はいてきた靴で、そのまま過ごしていただいてもかまいませんが、
院内で使用しますので、汚れていない(泥などは落として)清潔な靴をお願いします。
- **寝巻き(パジャマ)**
※ 頭や首・上半身の手術予定の方は、前開きのものをご用意ください。
点滴中のお着替えやお手伝いが必要な方も、前開きのものをお願いしています。
- 下着類
※ **オムツ・リハビリパンツ・尿取りパット**などは、レンタルをご利用ください。
※ 入院中のオムツ助成制度利用については、お住まいの行政窓口にご相談ください。
- **フェイスタオル・バスタオル**
※ 手術で入院される方は、手術で使用するものとは別にお持ちください。
- 洗面用具
 - **歯ブラシ・歯磨き粉・歯磨き用のコップ**:プラスチックなど割れないもの
 - **シャンプー・リンス・ボディソープ・ボディータオル**
- **箱ティッシュ**
- **マスク** ※ 手術室に入るときは、新しい不織布のマスクの着用をお願いしています。

《 必要な方のみお持ちください 》

- **携帯電話・充電器**
- お茶用の吸い飲み ※ お箸・スプーン等は病院の食事についています。
- **入れ歯**(洗浄剤)・**眼鏡**・**コンタクト**(洗浄液)・**補聴器**(電池)
※ 破損・紛失予防のため、かならず**ケース**をご用意ください。
- **食食用エプロン**
※ 毎食、清潔なものをご用意ください。使い捨てタイプは病院売店で購入できます。
- **イヤホン** ※ 個室以外で、テレビ・ラジオ等を視聴される場合、使用してください。
寝たまま使用する場合は、長めのものをご用意ください。
- **ひげそり** ※ ご自分で出来ない方は、電気カミソリ(充電器・電池)をご用意ください。
- **ヘアブラシ・ヘアゴム・ドライヤー** □ **爪切り**
- **医療物品**(ストーマや胃瘻関係のもの) □ **介護保険証・障害者手帳**など
- **ペースメーカー手帳・ICD手帳・介護サービス計画書(ケアプラン)**

* 面会について *

受付：B棟 1階面会受付 * 土日・祝日も同様

【 一般病棟・HCU・SCU 】 14:00 ~ 20:00

※ HCU・SCUは、集中的に治療・看護をおこなうための場所です。
短時間(10分程度)の面会をお願いしています。

ご面会の方は、セキュリティカードをお渡し致します。お帰りの際は、必ず返却してください。
紛失された場合は、実費1000円(税別)をいただきますので、あらかじめご了承ください。

※ 以下の方は面会をご遠慮ください。

- 面会時間以外の面会：他の患者さんの安静と治療の妨げになります。
- 大人数・酒気帯びでの面会：他の患者さんへのご迷惑になります。
- 小学生以下のお子様・風邪や胃腸炎症状のある方：感染予防のためにご遠慮ください。

- * 他の患者さんとの食べ物のやり取りは、食事制限の患者さんもおられ、治療の妨げとなります。
- * 一部の感染症については、面会の時間や場所を制限させていただく場合があります。
- * 生花の持ち込みはご遠慮ください。→ P10《持ち込みを禁止しているもの》参照
- * 産科病棟は面会制限があります。(詳しくは産科病棟リーフレットをご覧ください)

* 各館出入り口について *

【 A 棟 】 8:30 ~ 17:00 【 B 棟 】 8:30 ~ 20:00

各出入り口は防犯上、上記の時間帯以外は、閉鎖しております。

* 病院内セキュリティについて *

防犯対策として、入院病棟へは、セキュリティカードがない方は入れません。

* セーフティーボックス・現金/貴重品について *

現金・貴重品は最低限にし、病室を離れる際は、短時間でもセーフティーボックスに保管し、必ず鍵をかけてください。

セーフティーボックスの鍵は、自己管理もしくはご家族の管理をお願いします。紛失された場合は、実費 300 円(税別)をいただきますので予めご了承ください。

セーフティーボックスの大きさ：幅 39 cm × 奥行き 36 cm × 高さ 7 cm

病棟での貴重品・及び現金はお預かりいたしません。
盗難・紛失などの事故が起こりましても、当院では責任を負いかねます。

* 携帯電話・電子機器類の使用について *

通話可能区域

個室全室 各階病棟ラウンジ

使用禁止区域 (電源OFF)

医療機器から 1メートル以内

- * free Wi-Fi は特別室のみ設置しております。
- * 他の患者さんの迷惑にならないよう、マナーモードに設定のうえご使用ください。
- * プライバシー保護のため、原則、病院内の撮影は禁止しています。

* 個人データの保存について *

当院では、床ずれ(褥瘡)や傷などを効果的に治療するため、異常部分の局所の写真撮影を定期的に行い観察する事があります。

写真は、カルテに保管され院外に持ち出すことはありません。

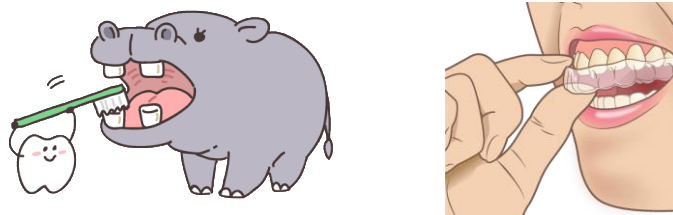
臨床研究や学習会のために用いる場合は、その旨を説明し同意を得なければ使用しません。

＊ 口腔衛生について ＊

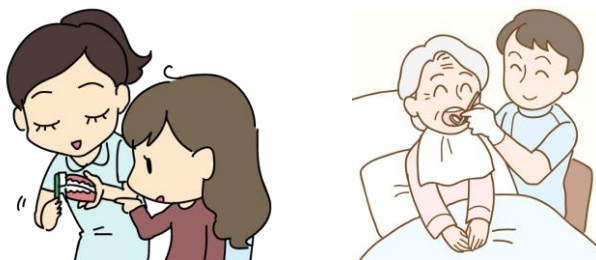
歯科口腔外科では、入院患者様のお口の衛生状態を健全に保つため、入院されるすべての患者様を対象とした、お口の衛生状態チェックとそれによって必要と判断された処置を行っております。

歯科を受診していただく理由

- ・お口の汚れを改善することによる「誤嚥性肺炎」の予防と入院期間の短縮
- ・古いかぶせ物や外れそうな差し歯、歯周病でグラついている歯などの誤飲の予防
- ・全身麻酔で手術をされる患者様の気管挿管時のマウスピース作成



入院されましたら、早期に歯科口腔外科を受診していただき、お口のチェックと必要な歯科処置をお受けください(診療室への移動が難しい場合には、ベッドサイドに往診も可能です)。



入院後、病棟看護師を通じて歯科受診または往診のご連絡をいたしますので、歯ブラシやコップなど必要な口腔ケア用品をお持ちの上、歯科口腔外科へお越しください。

※入院生活について※

《 食事 》

● 朝食 8:00 ● 昼食 12:00 ● 夕食 18:00

食中毒予防のために、病院食の取り置きはご遠慮ください。
病院食以外の食べ物の持ち込みは特別な場合を除き、ご遠慮下さい。
保管用冷蔵庫に保管した食品の衛生管理には十分ご注意ください。

《 起床・消灯 》

● 起床時刻 6:00 ● 消灯時刻 22:00

《 外出・外泊 》

リハビリで職員が同行する場合を除き、院外に出る場合、
医師の許可と、事前に外出・外泊許可証の届け出が必要です。
お出かけのときとお戻りのときにも必ず看護師にお声かけください。
外出中に必要な内服薬などの忘れ物がないように、ご注意ください。

《 付き添いについて 》

当院では基準看護を実施しており、原則として付き添いはできません。
ご家族の都合で、希望される場合は、医師の許可と届け出が必要です。
お産でご入院の方は、産婦人科リーフレットをご参照ください。

《 入浴 》

入浴については主治医とご相談ください。
入浴にお手伝いが必要な患者さんは、病棟別に入浴日時が決まっています。
病棟が変わり、ご迷惑をお掛けする場合がございますのでご了承ください。

《 テレビのご利用について 》

【 利用時間 】 6:00 ~ 22:00

各床頭台の備え付けのテレビをご利用ください。
利用時間を守り、個室以外はイヤホンをご使用ください。

《 冷蔵庫のご利用について 》

各床頭台に備え付けの冷蔵庫をご利用ください。

《 コインランドリーについて 》 ※ 各階病棟に設置。

洗濯：200円 乾燥：10分/100円
※ 両替機はありませんので小銭をご用意ください。

《 床屋について 》 1回/月

ご入院中に床屋を利用出来ます。
利用を希望される場合は病棟看護師にお申し出ください。

※ その他の注意点 ※

《 病院敷地内：禁酒・禁煙 》

- * ノンアルコール飲料も電子タバコも、パッケージ等の見分けがつかず誤解を生じやすいため、持ち込みを禁止しています。

《 入院中のお部屋の移動について 》

- * 病状や治療上の都合により、やむを得ず病室を変わっていただく場合があります。

《 入院中の他医療機関の受診について 》

- * 入院中に他の医療機関を受診することは、お薬のみの受診も、健康保険上の規定により、できない場合があります。あらかじめ、担当医師または看護師にご相談ください。

《 電話による取り次ぎ 》

- * 電話による患者さんに関しての照会やお取り次ぎは応じておりません。入院前に、ご家族や勤務先等へあらかじめご連絡をお願いします。

《 災害時について 》

- * 非常の際はスタッフが誘導いたします。スタッフの指示に従って行動してください。
- * エレベーターは、スタッフの許可があるまで絶対に使用しないでください。
- * 非常口や避難経路については、入院時にスタッフにご確認ください。
- * ベッドの周囲は整頓し、通路には物を置かないようにお願いいたします。

《 病院備品について 》

- * 当院では厚生労働省認可の基準寝具を使用しています。大切にご利用ください。
- * 基準の病院備品があるものは、病院の備品・電化製品をご利用ください。ベッドマット・ポータブルテレビ・冷蔵庫などは持ち込まないでください。
- * 許可のない電化製品(加湿器・使い捨てカイロ/湯たんぽ・携帯用扇風機・電気毛布など)は、火災予防のためにも、お断りしています。

《 持ち込みを禁止しているもの 》

- 危険物(はさみ・ナイフ等)
- ペットなど動物
- 宗教祭具 ※ 院内での宗教活動や各種の広報等は、禁止となっております。
- 生花 ※ アレルギー誘発・害虫発生などの予防から、持ち込みはご遠慮ください。
- 他の患者さん及び病院スタッフに迷惑となると判断したもの

※ 現在服用・使用している薬について ※

当院では、より安全な医療を提供するために
患者さんが使用しているお薬の内容を確認しております。

入院後速やかに、お薬・お薬手帳・その他お薬の飲み方や使用方法がわかるもの
(お薬の説明書など)をスタッフへお渡しください。

- * お薬手帳やお薬の説明書は、過去3ヶ月分がわかるようにお持ちください。
また、健康食品・サプリメントなどの日頃服用しているものがあればお知らせください。
- * お薬手帳やお薬の説明書は、飲み方・使用方法を知るために必要となります。
- * 持参薬の内容は、医師・看護師・薬剤師が確認いたします。
- * お薬は、入院予定日数分を目安にお持ちください。



《 持参薬を確認する目的 》

- * お薬の重複を避けることができます。
- * 同時に服用してはいけないお薬や組み合わせの悪いお薬を避けることができます。
- * 検査値に影響を与えるお薬や健康食品などが無いかチェックすることができます。
- * お薬の残数を確認することで、服用状況を確認しています。
お薬の確認の際、患者さんやご家族の同意の下、必要に応じてお薬の整理をさせていただきます。

《 入院中の持参薬使用に関して 》

- * 持参薬の服用・使用については、医師の指示のもとに行います。
そのため服用時間が入院前と異なる場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。
- * 持参薬を入院処方へ切り替える場合、同じお薬が準備できない場合は、
同効薬に変更することもあります。
- * 持参されたお薬を、院内で服用・使用することが無くなった場合は、返品させていただくか、
または、院内での破棄のご相談をさせていただきます。

《 退院後の持参薬使用に関して 》

- * 退院後は、医師の指示通り服用・使用するようお願いいたします。

※医療安全対策※

《 転倒転落 》

入院中は、生活環境が入院前とは異なります。また病状に、治療、投薬の影響など、生活動作に影響を及ぼしているため、思いがけず転んでしまうことがあります。転ぶことによる怪我により入院の延長や、生命に危険を及ぼす場合があります。

《 転んでしまう主な原因 》

- * 不慣れた環境で傷害物が見えにくい、段差等に気づきにくい。
- * 治療のための管に気を取られ足元等に注意が及ばない。
- * 手術や治療による安静により筋力が低下する。
- * 病状によるふらつきなどがある〔貧血、発熱など〕
- * 睡眠薬、痛み止め、利尿剤、下剤等の影響 など多くあります。

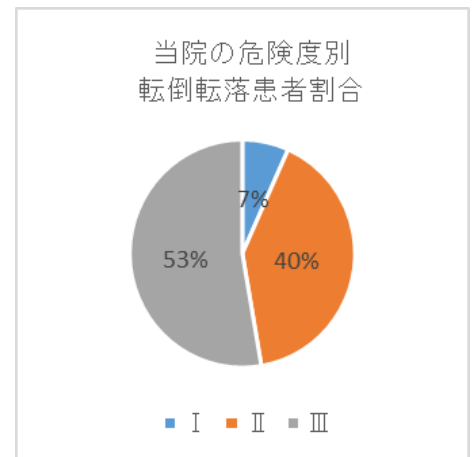


当院では転倒転落される患者さんのデータより抽出した項目をチェックし、転倒転落を起こしやすいかどうか数値化しております。

〔2018－2019年のデータより〕

- I：転倒転落を起こす可能性はある (7%)
- II：転倒転落をおこしやすい (40%)
- III：転倒転落をよく起こす (53%)

あなたの危険度は です。



《 転倒転落を起こさないためのお願いと注意点 》

1. 普段と違う身体状況であることを念頭におき、看護師から移動時は看護師に声をかけるよう説明されている方は、必ずナースコールで看護師をお呼び下さい。
2. 普段から使っている杖、履き物、眼鏡等を使用しましょう。(杖や履き物は素材によって、滑りやすかったり、身体状況により合わない場合もありますので看護師にご相談ください。)
3. 廊下やトイレなど、濡れている場合がありますので注意しましょう。
4. 消灯後は足元が暗くなるので、手元の常夜灯を利用し、目が慣れるまでは行動しないようにしましょう。
5. 転倒転落の可能性が高い場合、患者さんに合わせた様々な介護用具を使用する場合があります。使用する際ご家族にご説明させていただきます。(安全を優先致しますので事後のご説明の場合も有ることをご了承ください)
6. 介護用具は治療を行う時に必要な場合も使用する場合があります。

★ 万が一、他患者さんの転倒転落を発見したら、すぐに看護師をお呼び下さい。

《 アレルギーについて 》

食物アレルギー、薬物アレルギー、その他のアレルギーがある方は、必ず看護師に申し出てください。

《 患者誤認防止について 》

入院患者さん全員にリストバンドの着用をお願いしております。
点滴、検査、手術、輸血など治療時の患者確認に使用させて頂いております。
消灯後も安全のため点滴等の交換時に確認させて頂くことがあります。
病院には同姓の方や似た名前の方がいらっしゃいますので、リストバンドと合わせて、何度もお名前をお答え頂くことがあります。ご協力お願いします。

《 ご自身の治療について 》

医師から説明や同意書記載を求められることが多々あります。
説明にご同意頂いた上で署名をお願いします。
治療や検査で分からないことがありましたら遠慮せず、主治医や看護師におたずね下さい。

※ 感染防止対策 ※

当院では、院内感染予防のため、全ての職員が医療行為前後に手洗いや手指消毒を実施しています。入院中は普段よりも身体の抵抗力が弱まる場合があります。院内感染を予防するために以下の点について、皆様のご協力をお願いいたします。

《 手洗い・手指消毒 》 ※ 廊下に設置された手指消毒剤をご利用下さい。

- 病室に出入りする時
- 食事の前
- トイレの後
- 咳やくしゃみをした後（痰や鼻汁に触れた後）

《 マスクの着用・咳エチケット 》

- 咳やくしゃみがある時
 - ※ マスクはご自身でご用意ください。
 - ※ 感染症の多い季節では、常時マスクの着用をお願いする場合があります。
 - ※ 使用後のティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。



《 個室への移動・面会制限のお願い 》



耐性菌（お薬の効きにくい細菌）や感染症が確認された場合は、抵抗力が落ちた方への感染を防ぐために以下の対応をさせていただく場合があります。

- 感染対策の表示
- 個室への移動
- 医療従事者の手袋・ビニールエプロン・マスク・ゴーグル等の着用
 - ※ ご家族にも感染予防にご協力いただきます。
- 面会制限（一部の感染症）

《 食べ物の持ち込み 》 → P 9 《 食事 》 参照

《 生花の持ち込み 》 → P 1 0 《 持ち込みを禁止しているもの 》 参照

《 面会の方へ 》 → P 6 ※面会について※ 参照

《 その他のお願い 》

- 患者さんに使用した針等で、職員が針刺しなどを起こした場合には、患者さんの感染症の有無を血液検査で確認させていただきます。

※ サービス施設のご案内 ※

《 駐車場・駐輪場について 》

当院には隣接するコインパーキング(立体駐車場)がございますが、台数が限られているためご来院の際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

自転車にて来院された方は A 棟の駐輪場をご利用いただけます。
2 時間以上の駐輪は 1000 円の自己負担がかかりますのでご注意ください。
手術など、やむを得ず 2 時間以上利用した場合は、職員にお声かけください。

尚、いたずらによる破損盗難については当院では責任を負いかねます。
また、急なご入院で自転車等を長期駐輪せざるを得ない場合は、退院時に入退院センターにお声かけください。



《 コンビニエンスストア / ローソン : B 棟 1 階 》

【 営業時間 】 7 : 00 ~ 21 : 00 * 土日・祝日も同様

日用雑貨、寝巻き、タオル、新聞、雑誌等がございますのでご利用ください。
また ATM、ポストも売店内にございますので、必要な際はご利用ください。

《 カフェ / ぱんとえすぷれっそと : A 棟 1 階 》

【 営業時間 】 8 : 00 ~ 18 : 00 * 土日・祝日も同様

カフェスペースの他に、パンの販売もございます。

パンと
エスプレッソと
BREAD,
ESPRESSO &

《 鍼灸治療・マッサージ 》



入院中に身体を上手く動かせずに身体の痛みや不快感がありませんか？

肩こり、腰痛、背中の張り

リフレッシュしたい etc~

はり・きゅう・マッサージ

はいかがですか？



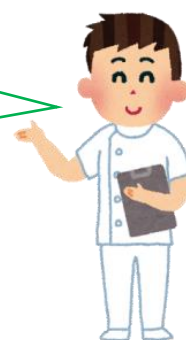
牧田総合病院では入院中に、ベッドサイドもしくは施術所で、**はり・きゅう・マッサージ**を受ける事が出来ます。

当院では

脳血管障害の後遺症に特化した鍼治療

も行っており、患者様の回復のお手伝いをさせて頂いております。

入院中の鍼灸希望の場合は、主治医の許可・指導のもと行いますので、病棟の看護師にお申し出ください。



* また、ご入院中のご家族の方にも牧田総合病院 A 棟 1 階にある施術所で施術を行っております。



1 回（15～20分程度）

1,650 円

月10回（週3回くらい）で病棟に伺います。
ご希望により回数を指定することも可能です。

※ 保険は使えません、自費診療になります。

※ 治療費は入院費お支払い時に請求させていただきます。

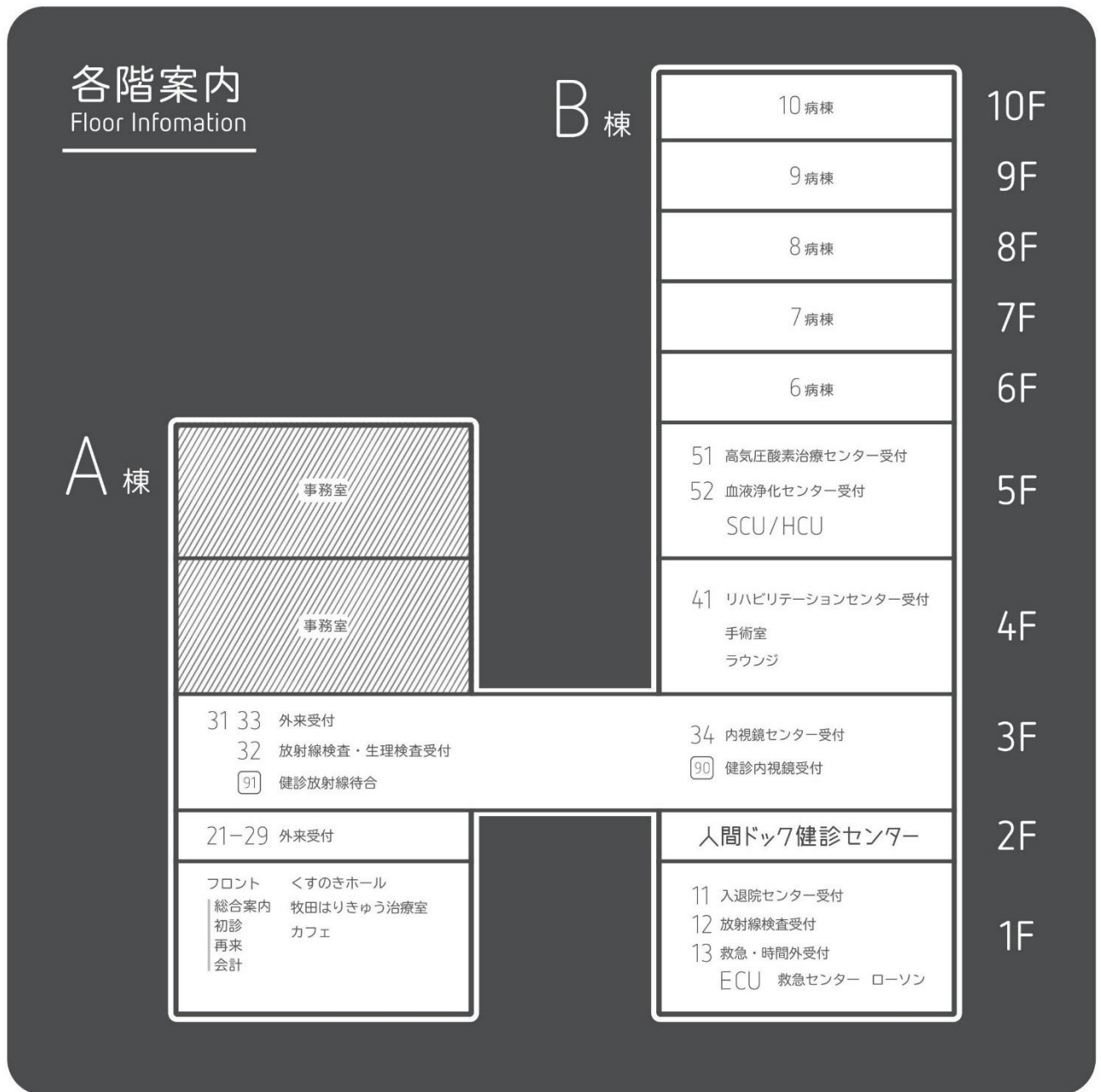
牧田総合病院 A 棟 1 階
牧田はりきゅう治療室
☎03-6428-7515



詳しくは
直接お聞きになるか
スタッフまで
お尋ねください

※ 院内案内図 ※

※ 入院時に非常口と緊急避難場所をご確認ください。



※ 患者相談窓口やご意見箱も設置しております ※
ご入院中にお気づきになった点やご要望についてのご意見をお聞かせください。



アクセス：JR 京浜東北線、東急多摩川線・池上線 蒲田駅より徒歩 5 分
蒲田駅南口から JR 線路脇を川崎方面に歩き「ユザワヤ」7 号館 ひつじ時計が目印を右に曲がり徒歩約 2 分

お問い合わせ

このご案内は、2020 年 11 月に作成しています。病院移転に伴い、変更事項がある可能性があります。ご不明な点は、病院スタッフまでご確認をお願いします。

電話番号 03-6428-7500

FAX 03-6428-7501

所在地 144-0051 東京都大田区西蒲田 8 丁目 20 番 1 号